

ボバース記念病院より作業療法士の先生をお迎えしての 事例検討会（研修）

刀根山支援学校で訪問教育を行っているボバース記念病院より、作業療法士であるリハビリテーション部科長 吉田律子先生をお招きして事例検討会を行いました。

あらかじめグループで児童の学習活動を検討のうえ、児童生徒の動きを引き出すよう工夫して製作した教材を発表し、上肢の動きが限られる児童生徒に対して、持ち方の調整や、動作を補助する介助方法など、授業で活用できるアイデアが紹介されました。

その後は吉田先生にご講評いただき、リハビリの視点で授業や支援に取り入れる際の実践例など、対象児の状態を正しく把握し、適切な手だての構築を学ぶことができました。

今回の研修で得られた知見を日々の学習に反映し、児童生徒一人ひとりの特性に寄り添った支援の充実を図ってまいります。

